

2023 第4回駿台学力テスト 中1 出題のねらい【英語】

今回は学年の最後のテストであり、次の中2の橋渡しとなる中1の復習内容を含めた問題構成になっています。

1 適語補充問題

現在進行形と過去形に加えて、助動詞canの用法や命令文の知識を確かめています。get upやtake a pictureなどの慣用句をしっかりと覚えておきましょう。

2 連立完成問題

一般動詞とbe動詞を使って同じ内容を表す問題やbuyとsellのような対義語を使って同じ意味を表す問題を出題しています。また、名詞と動詞の意味を持つsnowという語の使い方もポイントになっています。

3 書き換え問題

呼びかけを含む命令文や疑問詞から始まる疑問文の作り方を確かめる問題です。また、「(仕事・宿題など)をする」を表す一般動詞doの使い方も重要です。

4 整序英作文問題

一般動詞とbe動詞の文の基本的な語順に加えて、頻度を表す副詞の位置や疑問詞が主語になる現在進行形の文を出題しています。<How many + 複数名詞>の疑問文も語順を間違えやすいので注意が必要です。

5 誤文訂正問題

英文の誤りを見つけるには正しい文法の知識が必要です。三単現の(e)sや副詞の用法、数えられる名詞と数えられない名詞の区別など基本的な知識をしっかりと身につけましょう。

6 語い問題

問題の答えになる語は比較的易しいですが、glass「グラス」とglasses「メガネ」の関係やsecond「2番目、秒」の2つの意味など幅広い知識が必要です。

7 長文読解問題（物語文）

長い間姿を消していた父親が、ギターを教えることを通じて息子に最後の思いを伝える物語です。長文の量が多く難しい語(句)も使われていますが、これまで学習してきた知識を活用して、じっくりと読み取ることが必要です。

2023 第4回駿台学力テスト 中1 出題のねらい【数学】

中1で学んだ分野のうち、「平面図形」までの範囲から幅広く出題しました。例年どおり、解法暗記だけでは対応できないような見慣れない問題も多数出題しました。これらはいずれも、状況を正しく把握したうえで、何が問われているか、関係をどのように数式で表現すればよいかを考える問題です。正しい計算処理の仕方のみならず、状況を整理し理解したうえで、数式や図を利用して考察する力を身につけましょう。

1 計算問題（正負の数の計算，多項式の計算，1次方程式，1次方程式と解）

基本的に忠実に計算を進めれば完答できる難易度の計算問題を出題しました。正しい手順が身につけていなかったり^焦っていたりすると、累乗の計算，かっこを外す，分母を払う，数値を式に代入する，といった式変形ミスが生じやすいので，速く正確に計算をやりとげられる盤石な力を身につけてください。

2 小問集合（文字の表し方，変域，1次方程式の利用）

様々な現象や関係を，数式を用いて^{抽象化}できるかを問う問題を，小問形式で出題しました。(4)では，立方体から立体を取り除いて残る部分の体積を考える問題を出題しました。2つの柱体の重なりを正しく捉えられたか，重なった部分の体積を適切に考慮して体積を計算できたかを確認してください。

3 方程式の利用（速度）

単位時間あたりの採点枚数を速度とみて，条件に合う値を求めるための方程式を立式する問題です。速度や割合はとても大切な^{概念}です。その意味を理解したうえで，適切に使いこなせることが望まれます。また，数量の関係を式にする力が正しく身につけているかも確認してほしい問題です。

4 方程式の利用（比例式）

比例式から方程式を立式する問題です。式がやや複雑な形に見えますが，ていねいに変形することができれば方程式の標準問題といえます。見かけに惑わされることなく，しっかりと本質を捉えて処理することができたかを問う問題となっています。また，(3)は条件に合う値を一度求めてから，逆算して未知定数の値を求める問題です。何を求めているかを理解して式変形する必要があります。

5 比例と反比例のグラフ

反比例のグラフから次々と点の座標を求め、最後は三角形の面積を求めます。比例や反比例のグラフの交点の座標の求め方や、底辺や高さが利用できない三角形の面積の求め方など、比較的標準的なことの積み重ねですが、ミスなく最後まで求めきる力が必要となります。

6 平面図形

正十二角形の内側を正三角形と正方形がすべらずに回転したとき、どのような動き方をするかを考察する問題です。(3)では、正方形の対角線の長さに対する2乗の値を利用しておうぎ形の面積を求めます。求めたいものを得るために何が必要かを逆算する力と、式の値を用いて面積を考える思考が必要となる難問です。

2023 第4回駿台学力テスト 中1 出題のねらい【国語】

一年生最後のテストとして、読解・記述の総合力を試すことを目的とすることに加え、今後の重要な得点源となる古文の初歩的な問題を出题しました。二年生に進級するにあたり今後の課題を明確化し、入試本番を見据えた全ジャンルの見通しを立てられるようにすることが出題の意図です。

㊦ 漢字の読み書き

過去の入試問題で多く出題されている漢字を中心に出题しています。間違えたものはしっかり復習しておいてほしいと思います。(3)の「秩序」、(8)の「享受」は、論説文で出てくることも多いので、意味・使い方もおさえておきましょう。

㊦ 論説文の読解…………… 山本健人『すばらしい人体 あなたの体をめぐる知的冒険』

体の位置に関する認識・調節機能について説明した文章です。人体に関する専門的な内容を、例えを多く取り入れながら丁寧に説明しているので、それらを手掛かりに話のポイントをいかにおさえて読み取ることができるかを測るのがねらいです。前半は「深部感覚」について、後半は「楽な姿勢」について述べており、問三・問七・問八でその要点を確認しています。問三は「体」・「受容器」・「脳」がそれぞれどのような働きをし、互いにどのような関係にあるのかを正確にとらえましょう。問十は、本文の内容をしっかりと把握することはもちろんですが、細かな表現までしっかり吟味して解くようにしましょう。

㊦ 小説文の読解…………… 片岡翔『あなたの右手は蜂蜜の香り』

小説を出题する際のねらいは、状況や登場人物の心情をいかに読み取り理解することができるかを測ることです。今回は、熊の「あなた」と、その「あなた」に特別な思いを抱く「あたし」の物語で、本文は「あたし」が動物園で働き始めた頃の話です。全体を通して、「あたし」の動物に対する思いと、それを伝える表現の特徴を読み取ってほしいと思います。出題箇所も、そのような部分に焦点を当てています。問二の記述は、設問部直後だけをおさえればいい点では易しいのですが、「片付ける」ことにまで言及するのがやや難しいでしょう。問五・問六で問われているのは複雑な心情なので、そこに至るまでの文脈をしっかりとおさえて解くことが求められます。

四 古文の読解…………… 『御伽草子』所収「二十四考」

親の残した庭の木を切り分けようとした兄弟の話です。木に起きた変化を正確におさえられたかどうか
が問われています。問二(2)は田真の発言に関連する設問ですが、本文にある表現を使うだけでなく、「心」
の内容にまで一歩踏み込んで解答してほしいと思います。問三は古文の知識や読解力が求められる難しい
問題です。短い文章なので現代語訳と照らし合わせてよく復習し、今後の学習に役立ててほしいと思いま
す。